

ちちしほり



にんにん堂

「ねえ、ちよつと
いいかしら？
君たちにお願いが
あるんだけど・・・」

「僕たちで力になれることが
あるなら協力するよ！」

「おねえちゃん可愛いし
僕たち頑張るよ！」

たのび

たのび

「うふふ、ありがと♥」



「えっ、おねえちゃん!？」

「おねえちゃんね、おっぱいが張っちゃって辛いんだ…だからこうやってお乳を搾り出してほしいの…♥」

「そっか、辛いんだね…わかった、やってみるよ！」

ぬとまろ〜

ぴちぴち

おっぱい

ん



「乳首挿んで軽く力を入れたり…
しごいて搾り出したり…うん
いいわ…♡二人とも上手よ♡」

「こないだ牛の
乳搾り体験したんだ」

あん♡

「あの時飲んだ搾りたての
ミルク美味しかったなあ」

「おねえちゃんのも
美味しいのかな？」

ああん♡

「え…私のおっぱいミルク？
…うーん…飲んでみる？」



「どう？」

「美味しい？」

「うん……」

「すごく美味しいよ！」

「おねえちゃんのミルク
もっともっと飲みたい！」

「いいわよ……♡
いっぱい飲んで
ちようだい……♡」



びくっ
あう

あう

ごん

ごん

ごん

じゃん

ごん

ごん

「おねえちゃん、ミルク
出なくなってきたよ」

「そうみたいね…
それじゃあこれで…」

あー

あんっ

「やだやだー！
もつとやりたい！」

「もう…ワガママ言って…
…実はおねえちゃん興奮
するとミルク沢山出るんだけど
…やってみる？」



「えっ？本当!!」
「まだ出るの？」

「うん…♡」

「やるやるー！」
「どうすればいいの？」

「それじゃあ、一人ずつ
…順番ね…♡」

プクッ

ギンッ

ギンッ

ふっ

んっ

ふっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

はっ

はっ

「すごいよおねえちゃん！
これ気持ち良い！
ミルクも沢山出るし
ほんとすごいよっ！」

「そう・・・でしょ♥
おねえちゃんも凄い
興奮しちゃってる♥
それならぼく
もっと頑張るね！」



「やだ♥急に男らしく
なっちゃって・・・♥」

「年下の男の子なのに
一方的にパコられて
興奮しちゃうわっ♥」

「おねえちゃん……もうだめえ！
我慢できないよ……！
何か来る……出てくるっ……！！」

もうダメ……
あああ……

「何これ!? 凄い勢いで
流れてきてるよお♥
初モノザーメン凄すぎる♥」



ドビッ
ドビッ
ドビッ

私モ……
ビクッ
イクッ

ビクッ
イクッ

ビクッ
イクッ

「ミルクまだ出るんだね！
おねえちゃんってば
興奮しっぱなしだね！」

「やだ♥もうこれ止まらない♥
おま●こバックで突かれて
スケベミルク出っぱなし
なのおおおっ♥」



やだ

びしょ

おま●こ

びしょ

びしょ

バック

おま●こ

おま●こ

おま●こ

おま●こ

びしょ

いちゆい

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

「二人ともどうも

ありがとう……♡

お陰でおっぱい

楽になったよ……♡

「……良かったね

おねえちゃん♪

はぁ♡

はぁ♡

「……僕たちも

気持ち良かったよ♪

「……また頼んでも

いいかな……？」

はぁ♡

はぁ♡

ハァ……

ハァ……

ぶびゅん♡

「うん！僕たち
いつでも搾って
あげるよ♪」

「ありがとう♡
助かるわ……♡

ハァ……

ハァ……

ぬしお……

数日後

「えっ？」

「これ着るの？」

「じゅん」

「ロルお姉ちゃんに
着てほしいんだ♪」

「絶対似合うもんね♪」

「おっ
おっ」

「もう……
しようがないわね」

「どき、
どき」

「細かいことは気にしない
早く着てみせてよ♪」

「似合うのも何もこんな
裸同然じゃない……
大体、こんな衣装
どこで手に入れたの？」

「着替えてくるから
ちよつと待ってて」

「ちよつと待ってて」

「お待たせ♥

どう…かな?

「すごい!似合ってるよ!

ロルお姉ちゃんっ!」

「ありがと♥

正直とっても

恥ずかしいけど…」

「もうダメ、我慢できない

ねえ、ロルお姉ちゃん

いいでしょ!」

ドキ

ドキ

うっ!

ドキ

キッ

ドキ

はっ!

「うん、それじゃあ
始めましょ…♥」

「ふわああ！
なにこれっ……！
気持ち良いよお！」

「これはねえ……
パイズリって言うんだよ♥
おっぱいでおち●ぽを
こうやってえ〜……
ズリズリするんだよお♥」



「ふわふわであったかくて
すごく気持ち良いよっ！」

「ふふふ♥
ぽくとっても
エツチな顔
しちやって……
可愛いわね♥」

「もう……♥
乳首におち●ぽ
突っ込むなんて……
イケナイわよ……♥」

「だって、その格好してると
何だか乳首がおま●こに
見えてきたんだよ……!」

「そうそう、そしたら
ち●ちん突っ込みたく
なったんだ……!」

「もう……
ヘンタイ♥」



「ちよつとおお……
こんなものまで
用意してえ……♥」

「いいでしょ？
ぼくたち一生懸命
考えたんだ〜♪」

「こんなのスケベ
過ぎるわよ……
ああ……♥
興奮しちゃう♥」



しぼりたて準備中

びゅるびゅる

びゅるびゅる

グイン!

グイン!
グイン!

グイン!

コポ
コポ

コポ
コポ

「ほら、二人とも

もう日が暮れちゃう

わよ・・・そろそろお家

に帰らないと・・・♥」

「やだやだ!

まだおっぱい

飲みたいよ!

「もう少しだけ!

ね? いいでしょ

「ロルお姉ちゃん」

「しょうがない

わねえ・・・♥」



END



「普段は髪のもで隠れちゃって
見えないロルのお尻だよ♡
おっきいの気にしてるんだけど
おじさんからはこのお尻ね結構
評判良いんだよ♡」

「皆おっぱいばかりに目が
いきがちだけど男の人を
虜にする私のもう一つの
武器なんだよね♡」

ぐいっ♡

ムキッ

300%
お尻♡

ムキッ

「ロルのお尻で
エッチなお汁
いっぱい出し
て欲しいな♡」

ズキッ

ズキッ

「お尻と一緒におま●こも
見たいだなんて・・・
欲張りさんなんだから♥」

「ほら♥見せてあげるんだから
きみの熱いお汁いっっぱい
出してちょうだいね・・・♥」

とろとろ♡

ムキッ





たったっ

たったっ

んんん



2...

おはよう

ぬとま〜

おはよう



あん

ああん

ぎゅ

だんご

だんご

だんご

ぎゅぎゅぎゅ

ぎゅぎゅぎゅ

ぎゅぎゅぎゅ

ぎゅぎゅ



ビクッ
あっ

あっ

ふん

アキラ

アキラ

じゃん

アキラ

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん



あー

あー

はー

はー

ちゅー

ん

はー

ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー

アッ

ギンツ

ギンツ

10
%

10
%

10
%

10
%





もうダメ!
あああ!

ドビッ
ドビッ
ドビッ

私モッ
ビクッ
イクッ

プッ
プッ
プッ

プッ
プッ
プッ







ふんふん

おく
おく

どき
どき



ドキッ

ドキッ

はっ!?

はっ!?

はっ!?

うっ!

キッ

キッ

キッ







しぼりたて準備中

びちゃびちゃびちゃ

びちゃびちゃびちゃ

グイン

グイン
グイン

グイン

コポコポ

コポ
コポ

ん

ん

おっ

びん







ムキッ

ムキッ

ムキッ
ムキッ
ムキッ
♡

ムキッ



■ 普段パイズリはあまり描かないけど

今回、おっぱいがメインの内容だったので
描いてみました。

今後も色々なキャラクターを描いてみたいですね。



■ おシコリ報告等頂けたら大変嬉しいです。

pixivのメッセージ等々送ってくれたらなあ
と思っています。